

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」リハーサル大会
兼 第17回鹿児島県障害者スポーツ大会
フライングディスク競技実施要領

1 競技規則

令和5年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 競技は、全て競技役員の指示により進行する。
- (2) 競技は、主催者が用意した公式用具により行う。

3 服装等

- (1) 競技を行う時は、競技用の服装（運動しやすい服装等）とし、靴はスパイクが付いていない運動靴を着用する。
- (2) 番号布（ゼッケン）は、主催者が交付したものを競技用服装の上衣の胸部及び背部に付ける。

4 受付・招集

- (1) 選手は競技会場到着後、選手受付所において選手団ごとに受付を行う。
- (2) 選手招集所は、競技会場内に設ける。
- (3) 招集は、その組の競技開始予定時刻の20分前に開始し、10分前に完了する。
- (4) 選手は招集完了時刻までに選手招集所に集合し、競技役員の点呼を受ける。招集時刻に遅れた者は棄権とみなす。

5 介助者

- (1) 特別な事情のある選手は、介助者を1名つけることができる。
- (2) 介助者を必要とする選手は、招集開始時刻までに「介助者申請書」を提出し、主催者の許可を得ること。
- (3) 介助者は、競技者と同じ番号のゼッケンの交付を受け、これを着用した場合に限り、サイトのウェイティングラインまで入場することができる。ただし、プレーヤーが視覚障害者の場合は、スローイングエリアまで入場することができる。
- (4) 介助者は、スパイクの付いていない運動靴を着用する。
- (5) 介助者は、競技役員の指示に従うものとし、競技会場内では、競技者の競技上有利になるような助言等をしてはならない。また、競技会場内の写真撮影及び通信機器の使用を禁止する。

6 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、各組競技終了後に競技会場で順次行う。

7 その他

- (1) 大会当日のディスクを使用した練習は、定められた場所で安全に留意し、係員の指示に従って行う。
- (2) 練習用ディスクは、主催者が用意する。
- (3) 競技場内への入退場については、競技役員の指示により行う。
- (4) 競技及び表彰の終了した競技者は、競技役員又は競技補助員の誘導により解散所で解散する。
- (5) 競技場内へは、選手、大会役員、競技役員、競技補助員、実施本部員、情報支援ボランティア及びあらかじめ許可された介助者、報道関係者、視察員等関係者以外は立ち入ることができない。
- (6) 原則として、雨天時においても決行するため、雨具、防寒具等は各自で準備するものとする。
- (7) 荒天時ほか不測の事態等が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。
- (8) 参加者は、主催者が定めた新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドラインを遵守すること。